

令和元年9月19日(木)
令和元年度第1回鹿児島県地域医療構想研修会資料
(鹿児島県くらし保健福祉部保健医療福祉課作成)

病床機能報告における 定量的基準について

令和元年9月19日(木)
鹿児島県くらし保健福祉部
保健医療福祉課



1 病床機能報告における医療機能の考え①

○ 各医療機関(有床診療所を含む。)は、毎年、病棟単位で、医療機能の「現状」と「今後の方向」を、自ら1つ選択して、都道府県に報告。

厚労省資料

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)。
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者(重度の意識障害者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

- **回復期機能については**、「リハビリテーションを提供する機能」や「回復期リハビリテーション機能」のみではなく、リハビリテーションを提供していなくても「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」を提供している場合には、回復期機能を選択できる。
- 地域包括ケア病棟については、当該病棟が主に回復期機能を提供している場合は、回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択すること。
- 特定機能病院においても、病棟の機能の選択に当たっては、一律に高度急性期機能を選択するのではなく、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択すること。

1 病床機能報告における医療機能の考え②

厚労省資料

病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択して報告することとされているが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院していることから、下図のように当該病棟でいずれかの機能のうち最も多くの割合の患者を報告することを基本とする。

(ある病棟の患者構成イメージ)



各々の病棟については、

「高度急性期機能」

「急性期機能」

「回復期機能」

「慢性期機能」

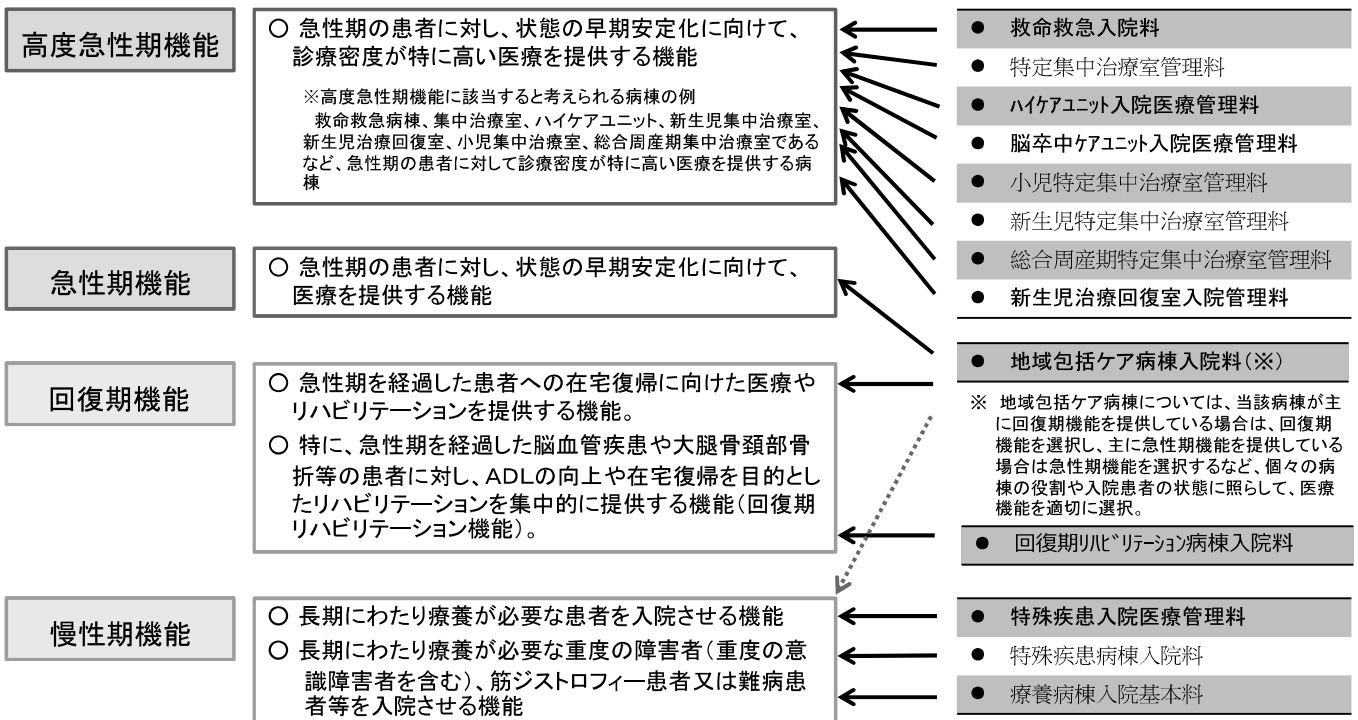
として報告することを基本とする。

3

1 病床機能報告における医療機能の考え③

厚労省資料

特定入院料等を算定する病棟については、一般的には、次のとおりそれぞれの機能として報告するものとして取り扱う。その他の一般入院料等を算定する病棟については、各病棟の実態に応じて選択する。



4

2 地域の実情に応じた定量的な基準の導入について

平成30年8月16日厚労省地域医療計画課長発
医政地発0816 第1号

第1回	資料3
鹿児島地域医療構想調整会議	
平成31年1月31日	

(前略)

一部の都道府県では、都道府県医師会などの医療関係者等との協議を経て、関係者の理解が得られた医療機能の分類に関する地域の実情に応じた定量的な基準を作成し、医療機能や供給量を把握するための目安として、地域医療構想調整会議(医療法(昭和23年法律第205号)第30条の14第1項に規定する協議の場をいう。以下同じ。)における議論に活用することで、議論の活性化につなげている。

各都道府県においては、地域医療構想調整会議における議論を活性化する観点から、本年度中に、都道府県医師会などの医療関係者等と協議を経た上で、地域の実情に応じた定量的な基準を導入されたい。

5

3 専門部会について

1 専門部会の名称

データ分析検討部会

2 協議事項

地域医療構想を推進するためのデータの分析について

3 スケジュール

平成31年3月18日：第1回
令和元年6月4日：第2回
令和元年8月6日：第3回

4 委員

右表のとおり

職名	所属	氏名
部会長	鹿児島県医師会	野村 秀洋
部会員	鹿児島県医師会	牧角 寛郎
部会員	鹿児島地域振興局	宇田 英典(~H31.3) 四元 俊彦(H31.4~)
部会員	北薩地域振興局	揚松 龍治
部会員	大隅地域振興局	四元 俊彦(~H31.3) 亀之園 明(H31.4~)
部会員	鹿児島大学	夏越 祥次
部会員	鹿児島県保険者協議会	下窪 洋一
副部会長	くらし保健福祉部	中俣 和幸

6